

令和3年度 教育研究（研修）の充実に関する研究グループ 活動報告

1 教育研究（研修）グループ組織

グループ主任		名寄中学校長
副主任		智恵文中学校長
委員		名寄小学校長 名寄西小学校長
研究主任		中名寄小学校教頭
研究委員		名寄東小学校教頭 名寄東中学校教頭 名寄東中学校主幹教諭 名寄小学校 名寄南小学校 名寄東小学校 名寄西小学校 中名寄小学校 智恵文小学校 風連中央小学校 名寄中学校 名寄東中学校 智恵文中学校 風連中学校

2 研究内容

研究項目	分担
1 スクールリーダー等の育成をはかる組織マネジメントや研修等の充実（学年・分掌等の組織の課題と改善策、メンター研修等の取組事例）	
2 日常実践の質の向上に資する戦略的な取組の充実（指導と評価、学年経営案の運用、教育活動に係わるコロナ対応、キャリアパスポートの運用、令和4年度年間行事予定、小中連携アンケート）	
3 人材育成に資する視察研修の実施と成果の発信（学校力向上の先進校視察の計画・実施・報告）	

3 今年度の活動経過

年	月	日	主な内容	備考
3	4	27	□第1回教育改善プロジェクト委員会全体会議 ○第1回研究グループ会議 (今年度の研究内容・計画, 役割分担等について確認)	文化センター大会 議室
	5	20	メンター研修 「国語授業の基本」	オンライン
	5	31	第1回スクールリーダー研修会	オンライン
	6	24	メンター研修「保護者懇談」	オンライン
	7	8	メンター研修「国語授業の基本」	オンライン
	8	23	第2回スクールリーダー研修会	オンライン
	9	2	メンター研修「国語授業の基本」	オンライン
	9		小中連携アンケート実施 (各中学校)	
	10	15	学校視察研修 (留萌小学校とのオンライン)	オンライン
	11	2	第3回スクールリーダー研修会	名寄南小学校
	11	11	□名寄市教育研究大会	名寄西小、名寄中
	11		小中連携パンフレット作成 (各小学校)	
	12	21	第4回スクールリーダー研修会	名寄南小学校
4	1	28	□名寄市教育研究集会	EN-RAYホール

4 今年度の活動

(1) スクールリーダー等の育成をはかる組織マネジメントや研修等の充実 資料1

- 1) 組織マネジメントにおけるスクールリーダーの役割
- ①教員育成指標の確認とOJTの具体的な取組、現任校での実践交流
 - 1 1月 2日 (火) 第3回スクールリーダー研修会で実施
 - ②スクールリーダーとしての取組交流
 - 1 2月21日 (火) 第4回スクールリーダー研修会で実施

(2) 日常実践の質の向上に資する戦略的な取組の充実 資料2

- 1) スクールリーダー研修会の実施
- 第1回 5月31日 (月) 15時～オンライン
- ①キャリアパスポートの効果的な運用
 - ②新学習指導要領に対応した評価について
 - ③コロナ禍における各種行事の対応
 - ④日常実践の課題交流
- 運動会・体育大会の内容、音楽の授業、職場訪問、観点別評価の具体、日程調整
- 第2回 8月23日 (月) 15時～オンライン
- ①家庭学習の取組、学習サポートのあり方

- ②コロナ禍における対応
- ③日常実践の課題交流
- 水泳学習中止に関わる学習、参観日のもちかた、各種行事の日程、取組確認
職場体験学習のもちかた

第3回 11月 2日（火）15時～名寄南小

- ①学年・学級経営案の効果的な運用
- ②小中連携アンケートの実施
- ③日常実践の課題交流
- 健康観察方法、スキー学習の確認事項、地域との関わり、今後の運動会や学芸会の在り方、

第4回 12月21日（火）15時～名寄南小

- ①上川管内ICT活用促進事業 プロジェクトIPPOについて
- ②令和4年度年間行事予定について
- ③日常実践の課題交流

(3) 人材育成に資する視察研修の実施と成果の発信

資料3

1) 学校力向上の先進校視察の計画・実施・報告

- 目的 学力及び体力向上、その他今日的教育課題に取り組んでいる先進校と交流し、その取組等について研修することにより、自らの職能向上とともに、視察の成果を各学校へ普及させる。
- 日時 令和3年10月15日（金）15:00～16:00
- 研修先 留萌市立留萌小学校
- 参加者 教育研究の充実に関するグループ 副主任 研究員10名
- 内容 ①『目指す15の姿』の具現化
②小中連携 外国語専科の活用 スマホ・ネットルール 家庭学習
③ICT活用 ロイロノートの活用 端末持ち帰り

2) 研修成果のまとめ報告

- 視察研修顛末、先進校資料を各校へデータで配付

5 成果と課題

【成果】

- 人材育成についてスクールリーダーとしての立場や役割について客観的に考える機会となった。
- スクールリーダーとしてのレベルアップが学校教育の質の向上に繋がることを実感することができた。
- 小中の実践を交流することで、各校が連携を意識した取組をすることができた。
- コロナ禍の対応や行事の在り方について、名寄市として共通意識をもって進めることができた。また、各校での取組を改善することができた。
- 学年・学級経営案やキャリアパスポートなど、新学習指導要領のスタートに合わせて

各校共通認識で取り組んできたことも、運用面の交流をする中で、改善点が明確になった。

- オンラインでの視察を行ったことで、多数参加することができた。小中連携や専科の活用、タブレットの活用など、名寄市でも実施できる内容を知ることができ、今後の名寄市の教育実践に生かせる内容であった。

【課題（次年度に向けて）】

- ▲学年・学級経営案やキャリアパスポートの有効な活用については学校間、小中間での連携を図り、充実を図っていく必要がある。
- ▲各学校の人材育成をより充実したものにしていくために、組織マネジメントに関する研修を年度の早い段階で行い、組織的、計画的な人材育成を図っていく必要がある。
- ▲各学校の改善にとどまらず、全学校で家庭学習を推進する日時を設定したり、共通の小テストをChromebookで行ったり、SNSの時間制限ルールを統一するなど、校種別や小中で統一することを発信していけるとよい。
- ▲スクールリーダー研修会の内容については、今年度の内容を振り返りながら、開催時期や効果的な内容を決めていく必要がある。